

# 第24期 事業報告書・決算報告書

自2019年4月 1日

至2020年3月31日



公益社団法人日本環境教育フォーラム

## 事業報告

(2019年4月1日から2020年3月31日まで)

### I. 概要

日本環境教育フォーラム（以下、JEEFと言います）の2019年度の事業の概要についてご報告します。

まず、2019年度に新たにスタートした事業についてご紹介します。

#### (バングラデシュ・シュンドルボンにおける農畜林水産部門の6次産業化による零細農村生産者の生計向上プロジェクト)

外務省・日本NGO連携無償資金協力事業として2020年2月よりスタートしました。世界自然遺産にも認定されているシュンドルボンにおいて農畜林水産部門の6次産業化による付加価値のある商品、加工技術の開発、マーケティングの開拓やエコ・グリーンツーリズム等のサービスを提供し、農村生産者の主体による持続的な生計向上を目指します。

#### (バングラデシュ・シュンドルボンにおける生物多様性保全を目指した自然体験プログラムの開発及び実践)

環境再生保全機構・地球環境基金の助成を受け、2019年4月よりスタートしました。JEEFが持つ環境教育の知識や経験とシュンドルボンの豊かな自然を活かした独自の自然体験プログラムを開発し、地域住民がインタープリターとなって実践することで自然環境の保全と生計向上の両立を目指します。

#### (バングラデシュ・シュンドルボン地域におけるコミュニティベース型シードバンクの設立を通じた里山農業保全活動)

地球環境日本基金の助成を受け、2019年7月よりスタートしました。プロジェクトサイトでは、農業生産の効率化により農薬や化学肥料を多用するハイブリット品種を導入しており、生物多様性の損失や健康への被害が起きています。そのため、地域にある農作物の固有品種の見直しや環境に配慮した農業の促進を目指します。

#### (みらかサイエンススクール)

みらかホールディングスの委託を受け、2019年10月よりスタートしました。病院内の学校（院内学級）の子どもたちを対象に、GEMSの強みを活かした探求型ワークショップを実施しました。これまで体験学習の場に参加が難しかった子どもたちにワークショップを届けることができました。

次に、継続事業の中から、代表的な事業について、ご説明します。

### (自主事業)

2019年11月15日(金)から17日(日)まで33回目となる「清里ミーティング」を開催しました。「正解がない問いと共に生きる時代の人づくり」をテーマに全体会議やワークショップが行われ、熱心な話し合いが行われました。

2013年にスタートした「東京シニア自然大学」は第7期目を無事に終了しました。

ジャパン GEMS センターでは、指導者養成やテキスト販売ばかりでなく、企業の社員を対象にした研修や院内学級でのワークショップなどが徐々に増加し、活動の幅を広げています。

### (国内事業)

環境省関連では、「明日の日本を支える観光ビジョン」の10本柱の1つである「国立公園満喫プロジェクト」を進め、外国人の受入体制やニーズを意識した拠点施設等のスタッフやガイド等の人材育成を図る「国立公園満喫プロジェクト人材育成支援業務」の他、「森里川海の恵みを次世代に伝えるプログラム実施業務」、「教員向けのカリキュラムデザイン研修事業」などを引き続き受託することができました。

企業との協働では、「市民のための環境公開講座」(損害保険ジャパン、SOMPO 環境財団)、「王子の森自然学校」(王子ホールディングス)、「わたしの自然観察路コンクール」(富士フィルム・グリーンファンド)、「SAVE JAPAN プロジェクト」(損害保険ジャパン、日本 NPO センター)などの事業を引き続き実施しました。

### (海外事業)

2017年よりスタートした経団連自然保護協議会創設25周年記念特別助成事業である「SATO YAMA UMI プロジェクト」が無事に終了しました。6カ国・地域における環境教育プログラムの開発・実践や都市部ユースを対象としたインターンシップ・プログラムを中心に生物多様性保全のための人材を育成することができました。

環境省より「日中韓環境教育ネットワーク(TEEN)事業」を引き続き受託し、2019年10月に中国・杭州市でシンポジウムなどを開催しました。また、「日中韓三カ国環境大臣会合(TEMM)」のサイドイベントであるユースフォーラムの開催支援業務を受託し、2019年11月に北九州市で開催しました。

さらに、昨年に引き続き環境再生保全機構・地球環境基金の環境ユース海外派遣研修事業の事務局を務めました。インドネシアに駐在する JEEF スタッフが中心となって企画した充実したプログラムを10名のユースに提供し、高い評価を得ることができました。

## (2020年度に向けて)

2019年2月から3月にかけて新型コロナウイルス感染拡大の影響により、各種イベントの延期や中止が重なりましたが、2019年度は僅かながらも3年続けての黒字を確保することができました。新型コロナウイルスの感染拡大に伴う事業への影響は予断を許しませんが、2020年度は、企業との協働による新規事業の開発、会員数及び寄付金の拡大に注力し、経営基盤のさらなる強化を図っていきます。

ご支援をいただいているみなさまには、引き続き、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## II. 会員、理事・監事、事務局等

### 1. 会員数 (2020年3月31日現在) :

特別会員 / 11名 (+0, -0)

正会員 / 個人 54名 (+1, -3)

団体 9団体 (+0, -0)

普通会員 / 個人 392名 (+80, -70)

団体 39団体 (+1, -3)

学生 19名 (+5, -9)

賛助会員 / 11団体 (+0, -0)

### 2. 理事・監事

理事総数 12名

監事総数 2名

### 3. 事務局

期初、常勤役員(理事長・理事)2名、職員13名(インドネシア駐在員1名、出向受職員2名を含む)、臨時職員1名でスタートし、期末に常勤役員(理事長)1名、職員12名(インドネシア駐在員1名、出向受職員2名を含む)、臨時職員1名となりました。

## III. 会議等

### 1. 総会

#### イ. 2019年度定時社員総会

日時 2019年6月20日(木) 午後4時~5時30分

場所 日能研西日暮里ビル 6階会議室  
正会員総数 63名のうち出席正会員数 52名  
内訳 役員出席 理事 11名 監事 2名（内理事委任状出席 6名）  
その他出席 個人 33名（内委任状出席 26名）  
団体 8名（内委任状出席 6団体）

議決事項

第1号議案 第23期事業報告書(案)及び決算報告書(案)について  
第2号議案 理事の選任について

報告事項

第24期事業計画及び収支予算について

## 2. 理事会

### イ. 2019年度 第1回通常理事会

日時 2019年6月5日(水) 午前10時~12時  
場所 日能研西日暮里ビル 6階 会議室  
役員総数 14名(理事12名・監事2名)  
出席役員 10名 内訳 理事8名 監事2名

議決事項

第1号議案 2018年度(第23期)事業報告書(案)及び決算報告書(案)の件  
第2号議案 定時社員総会開催の件  
第3号議案 理事候補の件  
第4号議案 正会員の入会の件

報告事項

- ・2018年度下半期の業務執行状況について
- ・理事または理事が関与する団体との取引について

### ロ. 2019年度 臨時理事会

日時 2019年10月29日(火) 午後3時~5時  
場所 日能研西日暮里ビル 6階 会議室  
役員総数 14名(理事12名・監事2名)  
出席役員 9名 内訳 理事8名 監事1名

議決事項

第1号議案 事務局長人事の件

報告事項

- ・2019年度上半期事業執行状況の件
- ・2019年度年度末見込みの件
- ・短期運転資金の借り入れの件

・理事及び理事の関与する団体との取引の状況の件

#### 1. 2019年度 第2回通常理事会

日時 2020年3月23日(月) 午後3時~5時

場所 日能研西日暮里ビル 6階 会議室

役員総数 14名(理事12名・監事2名)

出席役員 12名 内訳 理事11名 監事1名

※web会議形式で開催

##### 議決事項

第1号議案 2020年度(第25期)事業計画(案)及び収支予算(案)及び資金調達及び設備投資見込み(案)について

第2号議案 2020年度部長人事について

第3号議案 常勤理事の年俸について

第4号議案 正会員入会の承認について

##### 報告事項

- ・2019年度下半期業務遂行状況について
- ・2019年度年度末見込みについて
- ・運転資金の短期借入れについて

#### IV. 附属明細書

第24期(2019年4月~2020年3月)における附属明細書は、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する『事業報告の内容を補足する重要な事項』はありませんので作成していません。

## 2019年度事業内容

事業名	事業内容
<b>公益目的事業</b>	
<b>調査・資料収集・情報提供事業</b>	
ネットワーク整備・運営管理	ホームページ運営、自然体験プログラム検索・紹介、各事業ブログ管理、メルマガなどを発信。
機関誌「地球のこども」発行	JEEFの活動状況や環境教育に関する動き・イベントなどの情報を提供。
自然ふれあい体験学習等推進	全国の自然ふれあい施設、自然体験イベントなどを調査・収集・整理のうえ提供するホームページの運営管理、メルマガを発信。
森里川海プロジェクト	読本「森里川海大好き！」を活用した読書感想文コンクールを実施。また、入賞者に対して神奈川県にて自然体験プログラム及び表彰式を実施。(環境省)
国立公園関連の調査・情報提供事業	国立公園の利用推進に資する調査や情報提供事業を実施。(環境省)
GEMS手法の途上国展開調査事業	GEMS手法を使った環境教育がブータンで展開可能かどうかの調査を実施。また、ブータンにおいて教員向け研修を開催。
<b>環境教育事業</b>	
王子の森自然学校	王子製紙社有林をフィールドにして子どもを対象に自然体験、林業体験、紙漉など環境教育プログラムを企画・運営実施。(王子ホールディングス)
SAVEJAPANプロジェクト	日本NPOセンター経由で損害保険ジャパンの資金を活用し、東京・山梨・島根の各地域の団体と協働して生物多様性を守る活動を実施。(損害保険ジャパン)
市民のための環境公開講座	生物多様性やSDGs、暮らし等をテーマとした講座9回、特別講座1回を実施。(損害保険ジャパン、SOMPO環境財団)
自然観察路コンクール	身近な自然の面白さを発見し、自然を観察できる道を自分でつくって「絵地図」と「文章」で表現していただいたものを「自然観察路」として審査・表彰するコンクールを実施。(富士フィルム)
「海とさかな」プロジェクト	小学生を対象に海とさかなをテーマにした自然体験プログラムを実施。(ニッスイ)
教職員等環境教育研修事業	学校や地域で環境教育・学習を実践・推進するリーダー的な人材を育成することを目的とした研修を全国各地で開催。(環境省)
国立公園関連人材育成事業	ビジターセンター等の拠点施設や職員、エコツアーガイド等の人材育成を目的に、研修やアドバイザー派遣等を実施。(環境省)
教員免許更新のための環境教育研修	教員免許更新講習(選択領域)としてアクティブな学びを引き出すファシリテーションをテーマに実施。
再生可能エネルギー普及啓発事業	豊島区民を対象に再生可能エネルギー問題を、GEMSの手法を生かすなど、楽しみながら学ぶ基礎講座を運営。(豊島区)
清里ミーティング	清里キープ協会にて体験活動型を含むワークショップを2泊3日で開催。2019年度は「正解がない問いと共に生きる時代の人づくり」をテーマに全体会を実施。
東京シニア自然大学	シニアを対象に、自然について体系的に、かつ、座学とフィールド実習をバランスよく学ぶ1年間の講座を実施。
GEMS手法を使った環境教育研修	GEMSの手法を使って、企業の環境をテーマにした出前授業やワークショップを支援。(みらか、明電舎など)
<b>環境・科学教育普及事業</b>	
GEMS普及プロジェクト	GEMS(科学体験プログラム)ガイドブック販売、リーダー養成、ワークショップを実施。
<b>海外環境教育等交流支援事業</b>	
バングラデシュ途上国におけるNGO無償資金協力事業	バングラデシュのスンドルバン地域における農畜林水産部門の6次産業化による零細農村生産者の自立的な生計向上を目指す事業を実施。(外務省)
日中韓における環境教育協力推進事業	日本・中国・韓国での環境教育に関する情報交換等を通じて、3カ国の環境教育面における協力を促進。(環境省)
インドネシア村落における環境教育、生活環境向上支援	インドネシアの村落において、森林保全の重要性などに関する環境教育を実施し、自然資源利用による地域の活性化を促進し、生活環境向上を支援。(経団連自然保護基金)
KNCF25周年記念人材育成事業	アジアおよび太平洋諸国の生物多様性保全の取組を進めるための人材育成事業をコンサベーションインターナショナルジャパンおよびバードライフインターナショナル東京と協働で実施。(経団連自然保護基金)
環境ユース海外派遣研修	インドネシアに日本人研修生を派遣し途上国において活躍できる人材を育成するための研修を実施。(環境再生保全機構)
バングラデシュ環境人材育成事業	バングラデシュの現地NGOと協働して現地における環境保全と経済成長の両立を図るような人材を育成。(環境再生保全機構)
バングラデシュにおける生物多様性保全事業	バングラデシュにおいてコミュニティベース型シードバンクの設立を通じた里山農業保全活動を実施。(地球環境日本基金)
ブータンエコツーリズム設備整備と希少種保全	ブータンにおけるエコツーリズムを普及させるために設備整備を行い、希少野生動植物を保全。(トヨタ自動車)
インドネシアにおける環境人材育成事業	インドネシアの大学生を現地NGOにインターンとして派遣し、環境について学ぶことで将来アジアの環境問題解決に貢献する人材を育成(SOMPO環境財団)
<b>環境教育用建物貸与</b>	
環境教育用建物貸与	宝くじ協会助成金で建設した4棟(北海道、宮城県、山梨県、岐阜県)の建物を、地元団体に貸与(使用貸借)。環境教育プログラムは地元団体が企画実施。

事業名	事業内容
収益事業等	
環境教育受託事業	
きのこ・たけのこ里山学校	親子を対象に森林や里山をフィールドに自然体験プログラムを企画・運営実施。(読売広告社・明治)
海外環境教育修学旅行事業	高校生を対象にカンボジアで環境やSDGsについて学ぶ修学旅行事業を実施。(近畿日本ツーリスト)
企業向環境教育研修事業	
GEMS社員研修	GEMSプログラムを使った社員研修を実施。
社員研修	社員を対象にした環境教育研修を実施。



貸借対照表  
(2020年3月31日現在)

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
<b>I 資産の部</b>			
<b>1 流動資産</b>			
現金預金	44,047,430	8,308,048	35,739,382
未収会費	480,000	510,000	△ 30,000
未収金	75,837,497	87,109,085	△ 11,271,588
前払金	22,063,916	356,244	21,707,672
前払費用	0	0	0
仮払金	104,000	54,000	50,000
棚卸資産	339,619	2,068,450	△ 1,728,831
<b>流動資産合計</b>	<b>142,872,462</b>	<b>98,405,827</b>	<b>44,466,635</b>
<b>2 固定資産</b>			
(1) 基本財産			
定期預金	21,079,827	21,079,827	0
<b>基本財産合計</b>	<b>21,079,827</b>	<b>21,079,827</b>	<b>0</b>
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	1,406,779	4,265,292	△ 2,858,513
<b>特定資産合計</b>	<b>1,406,779</b>	<b>4,265,292</b>	<b>△ 2,858,513</b>
(3) その他の固定資産			
建物	28,368,365	32,813,960	△ 4,445,595
建物付属設備	2,746,275	3,209,378	△ 463,103
什器備品(一括償却資産)	0	50,040	△ 50,040
電話加入権	224,952	224,952	0
<b>その他の固定資産合計</b>	<b>31,339,592</b>	<b>36,298,330</b>	<b>△ 4,958,738</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>53,826,198</b>	<b>61,643,449</b>	<b>△ 7,817,251</b>
<b>資産合計</b>	<b>196,698,660</b>	<b>160,049,276</b>	<b>36,649,384</b>
<b>II 負債の部</b>			
<b>1 流動負債</b>			
未払金	23,422,025	28,781,003	△ 5,358,978
未払費用	48,994	917,735	△ 868,741
前受金	65,773,778	7,528,500	58,245,278
預り金	304,336	1,409,275	△ 1,104,939
仮受金	0	50,000	△ 50,000
未払消費税	1,591,700	3,437,200	△ 1,845,500
未払法人税等	0	70,000	△ 70,000
短期借入金	25,000,000	35,000,000	△ 10,000,000
<b>流動負債合計</b>	<b>116,140,833</b>	<b>77,193,713</b>	<b>38,947,120</b>
<b>2 固定負債</b>			
退職給与引当金	1,406,779	4,265,292	△ 2,858,513
<b>固定負債合計</b>	<b>1,406,779</b>	<b>4,265,292</b>	<b>△ 2,858,513</b>
<b>負債合計</b>	<b>117,547,612</b>	<b>81,459,005</b>	<b>36,088,607</b>
<b>III 正味財産の部</b>			
指定正味財産	0	0	0
一般正味財産	79,151,048	78,590,271	560,777
<b>正味財産合計</b>	<b>79,151,048</b>	<b>78,590,271</b>	<b>560,777</b>
<b>負債及び正味財産合計</b>	<b>196,698,660</b>	<b>160,049,276</b>	<b>36,649,384</b>

正味財産増減計算書  
(2019年4月1日から2020年3月31日まで)

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
<b>1 経常増減の部</b>			
<b>(1) 経常収益</b>			
①基本財産運用益	2,129	2,102	27
②受取入会金	10,000	20,000	△ 10,000
③受取会費	6,342,490	6,474,490	△ 132,000
正会員受取会費	1,350,000	1,780,000	△ 430,000
普通会员受取会費	3,292,490	2,694,490	598,000
賛助会員受取会費	1,700,000	2,000,000	△ 300,000
④事業収益計	128,813,782	185,111,520	△ 56,297,738
調査・資料収集・情報提供事業	12,959,838	14,055,323	△ 1,095,485
環境教育事業	67,305,816	90,171,342	△ 22,865,526
環境科学教育普及事業	8,584,802	9,535,655	△ 950,853
海外環境教育等交流事業	36,469,190	64,822,867	△ 28,353,677
環境教育受託事業	2,039,886	3,961,333	△ 1,921,447
企業等環境教育研修事業	1,454,250	2,565,000	△ 1,110,750
⑤受取民間助成金	30,466,988	33,704,498	△ 3,237,510
⑥受取寄付金等	2,780,292	3,070,661	△ 290,369
⑦雑収益	382,118	307,083	75,035
<b>経常収益計</b>	<b>168,797,799</b>	<b>228,690,354</b>	<b>△ 59,892,555</b>
<b>(2) 経常費用</b>			
①事業費計	121,990,327	184,595,480	△ 62,605,153
役員報酬	3,413,815	3,413,813	2
給料手当	36,567,002	44,856,486	△ 8,289,484
臨時雇賃金	2,064,691	2,574,821	△ 510,130
諸謝金	17,560,025	24,946,451	△ 7,386,426
委託費	30,258,508	63,984,922	△ 33,726,414
旅費交通費	12,270,407	30,728,908	△ 18,458,501
通信費	1,974,785	2,455,348	△ 480,563
消耗品費等	2,252,620	2,214,714	37,906
印刷製本費	7,881,240	3,636,555	4,244,685
広告宣伝費	521,572	1,765,681	△ 1,244,109
会議費	1,115,380	1,148,332	△ 32,952
借損料	2,415,358	2,400,153	15,205
保険料	1,078,661	1,052,164	26,497
雑費	887,432	473,918	413,514
棚卸資産期首棚卸高	24,394,148	26,884,483	△ 2,490,335
棚卸資産期末棚卸高	△ 23,287,540	△ 24,394,148	1,106,608
単行本在庫調整勘定戻入	△ 22,325,698	△ 25,872,819	3,547,121
単行本在庫調整勘定繰入	22,947,921	22,325,698	622,223
②管理費計	46,246,695	43,825,612	2,421,083
役員報酬	1,463,063	1,463,062	1
給料手当	11,085,970	6,778,051	4,307,919

正味財産増減計算書  
(2019年4月1日から2020年3月31日まで)

科目	当年度	前年度	増減
退職給付費用	1,080,000	2,320,000	△ 1,240,000
法定福利費	7,630,803	8,129,435	△ 498,632
通勤費	2,608,616	2,355,780	252,836
福利厚生費	210,868	122,056	88,812
会議費	66,632	70,837	△ 4,205
交際費	0	3,780	△ 3,780
旅費交通費	1,077,008	1,192,453	△ 115,445
通信運搬費	649,497	811,149	△ 161,652
建物減価償却費	4,445,595	4,445,595	0
建物付属設備減価償却費	463,103	555,059	△ 91,956
什器備品減価償却費	50,040	109,008	△ 58,968
消耗什器備品費	104,852	295,394	△ 190,542
消耗品費	1,386,635	1,456,550	△ 69,915
修繕費	0	10,692	△ 10,692
広告宣伝費	267,800	499,728	△ 231,928
賃借料	3,270,000	3,240,000	30,000
保険料	10,900	10,900	0
支払手数料	2,345,943	2,229,856	116,087
租税公課	5,956,300	5,877,750	78,550
諸会費	124,800	124,800	0
図書研究費	104,940	59,020	45,920
リース料	1,191,024	1,072,440	118,584
支払利息	370,915	311,397	59,518
雑費	281,391	280,820	571
<b>経常費用計</b>	<b>168,237,022</b>	<b>228,421,092</b>	<b>△ 60,184,070</b>
<b>当期経常増減額</b>	<b>560,777</b>	<b>269,262</b>	<b>291,515</b>
<b>2 経常外増減の部</b>			
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
什器備品除却損	0	0	0
賃貸建物修繕費	0	0	0
移転関連費	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
<b>当期経常外増減額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>当期一般正味財産増減額</b>	<b>560,777</b>	<b>269,262</b>	<b>291,515</b>
一般正味財産期首残高	78,590,271	78,321,009	269,262
一般正味財産期末残高	79,151,048	78,590,271	560,777
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
(1) 受取寄付金	0	0	0
<b>当期指定正味財産増減額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
<b>III 正味財産期末残高</b>	<b>79,151,048</b>	<b>78,590,271</b>	<b>560,777</b>

## 《財務諸表に対する注記》

### 1. 重要な会計方針

- ① 棚卸資産の評価: 低価法(洗替法)によっている。
- ② 固定資産の減価償却の方法: 建物は定額法、建物付属設備及び什器備品は定率法によっている。但し耐用年数5年を過ぎた什器備品については残存価格1円になるまで定額償却している。
- ③ 引当金の計上基準: 職員の退職規程に基づく期末要支給額を基に算定しているが、今期は一部を計上した。
- ④ 消費税の会計方式: 税込み方式によっている。
- ⑤ 貸借対照表の資産の部の棚卸資産の額: 単行本在庫調整勘定を控除した額を表示、調整勘定の額は正味財産増減計算書に表示している。

### 2. 基本財産及び特定資産の増減額、残高

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	21,079,827	0	0	21,079,827
特定資産				0
退職給付引当資産	4,265,292	0	2,858,513	1,406,779
合計	25,345,119	0	2,858,513	22,486,606

### 3. 固定資産の取得原価、減価償却累計額及び当期末残高

(単位:円)

固定資産科目の物件	取得原価	減価償却累計額	当期末残高	* 当期減価償却額等
建物4施設	107,381,572	79,013,207	28,368,365	4,445,595
建物付属設備4施設	43,461,290	40,715,015	2,746,275	463,103
一括償却資産	150,120	150,120	0	50,040
電話加入権	224,952	0	224,952	0
合計	151,217,934	119,878,342	31,339,592	4,958,738

### 4. 受取民間助成金の内訳並びに交付者

(単位:円)

助成金等の名称等	交付者	金額
経団連自然保護基金創設25周年記念特別基金助成事業	公益信託経団連自然保護基金	20,000,000
ジャカルタ湾岸マングローブ再生プロジェクト	公益信託経団連自然保護基金	2,520,000
ハングラデッシュ・シントルボン生物多様性保全プログラム開発	地球環境基金	3,399,000
ハングラデッシュ・シントルボン地域里山農業保全活動	地球環境日本基金	1,377,000
プータン(チェラ峠)エコツーリズム設備整備と希少種保全	トヨタ自動車	1,746,988
ジャカルタ湾岸マングローブ再生プロジェクト	国土緑化推進機構(緑の募金)	1,424,000
合計		30,466,988

**財産目録**  
(2020年3月31日現在)

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額	
流動資産	現金	手元保管	小口現金	308,803
	普通預金	三菱UFJ銀行新宿支店	事業・管理費等に充てるための資金	42,412,448
	普通預金	巣鴨信用金庫西日暮里支店	事業・管理費等に充てるための資金	321,561
	定期積金	巣鴨信用金庫西日暮里支店	事業・管理費等に充てるための資金	220,000
	郵便振替		事業・管理費等に充てるための資金	784,618
	未収会費	正会員6人1団体	20年度～30年度会費未納額	480,000
	未収金	環境省他25件	30年度受託事業等未収分	75,837,497
	前払金	BEDS(*)	次年度活動委託料	21,270,117
		エバープロテクト	行事保険等次年度保険料	482,199
		エコギャリ新宿	シニア自然大学本科次年度会場費	17,100
		ダイワ広告	次年度シニア自然大学本科受講生募集広告	55,000
		フジ弘報社	次年度シニア自然大学本科受講生募集広告	165,000
		コンベンションリンクージ	シニア自然大学本科次年度会場費	4,500
		プリントコミネット	次年度シニア本科受講生募集パンフレット	70,000
		(*) Bangladesh Environment and Development Society		
	仮払金	株式会社 労働安全衛生協会 CSM	サービス利用契約締結預け金	54,000
	柴原みどり	出張旅費仮払	50,000	
棚卸資産	JEEF事務局・保管倉庫	期末在庫商品 23,287,540 円 単行本在庫調整勘定 △22,947,921円	339,619	
<b>流動資産合計</b>			<b>142,872,462</b>	
固定資産	基本財産(定期預金)	三菱UFJ銀行新宿支店	公益を目的とした事業に充てるための保有財産	21,079,827
	特定資産(普通預金)	三菱UFJ銀行新宿支店	職員の退職金に備えた預金	1,406,779
<b>固定資産計</b>			<b>22,486,606</b>	
その他固定資産	建物	山梨県北杜市長坂町	自然体験指導者育成のための研修施設	5,686,344
	建物	宮城県栗原市栗駒町	自然体験指導者育成のための研修施設	6,345,230
	建物	岐阜県高山市清見	自然体験指導者育成のための研修施設	7,014,420
	建物	北海道寿都郡黒松内町	自然体験指導者育成のための研修施設	9,322,371
	<b>建物合計</b>			<b>28,368,365</b>
	建物付属設備	山梨県北杜市長坂町	上記研修施設厨房設備その他付属設備	443,955
	建物付属設備	宮城県栗原市栗駒町	上記研修施設厨房設備その他付属設備	653,068
	建物付属設備	岐阜県高山市清見	上記研修施設厨房設備その他付属設備	878,544
	建物付属設備	北海道寿都郡黒松内町	上記研修施設厨房設備その他付属設備	770,708
	<b>建物付属設備合計</b>			<b>2,746,275</b>
	什器備品	一括償却資産		0
	電話加入権	NTT東日本	電話加入権 内公益目的保有財産76% 収益事業管理費に充てる財産24%	170,964 53,988
	電話加入権合計			224,952
	<b>その他固定資産計</b>			<b>31,339,592</b>
	<b>固定資産合計</b>			<b>53,826,198</b>
<b>資産合計</b>			<b>196,698,660</b>	
流動負債	未払金	特非)日本エコツアーリズム協会・矢田誠・Mlup Baitong・みくに出版(株)・サンエー印刷(株)他、計59件	2019年度事業費未払分	23,422,025
	未払費用	(株)雄誠堂・ヤマト運輸(株)	2019年度使用分	48,994
	前受金	外務省・日本NPOセンター・シニア自然大学8期生22名	次年度委託料・受講料	65,773,778
	預り金	職員・講師他	源泉税・住民税・社会保険料等	304,336
	仮受金	-	-	0
	未払消費税等		2019年度消費税確定納付	1,591,700
	三菱UFJ/新宿支店		短期借入金	20,000,000
	巣鴨信金/西日暮里支店		短期借入金	5,000,000
	<b>流動負債合計</b>			<b>116,140,833</b>
固定負債	退職給与引当金	職員に対するもの	職員の退職金に備えるもの	1,406,779
<b>固定負債合計</b>			<b>1,406,779</b>	
<b>負債合計</b>			<b>117,547,612</b>	
<b>一般正味財産</b>			<b>79,151,048</b>	
<b>正味財産合計</b>			<b>79,151,048</b>	